

藺牟田池ラムサール条約湿地登録 20周年記念フェスタ

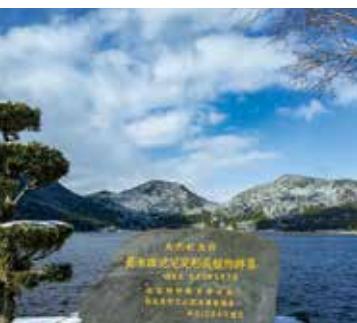
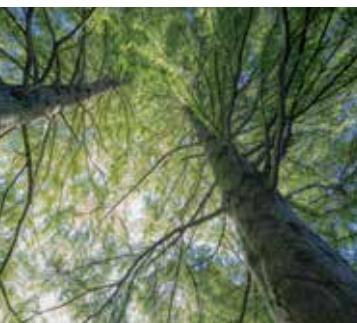


Anniversary

th
令和7年11月9日(日)



主催:～ラムサール条約湿地登録20周年～記念フェスタ・いむた池マルシェ合同運営委員会
(薩摩川内市・藺牟田池ラムサール条約湿地登録20周年記念イベント実行委員会・藺牟田地区コミュニティ協議会)
協賛:薩摩川内市衛生自治団体連合会・いむた池愛好会・合同会社HS WORKS
問合先:薩摩川内市市民安全部環境課 電話(0996-23-5111)



プログラム

1 オープニング 10:00~10:20

- (1) イベント開会宣言 田中 良二
～ラムサール条約湿地登録20周年～記念フェスタ・
いむた池マルシェ合同運営委員会運営委員長(薩摩川内市長)
- (2) 地元歓迎のあいさつ 大木 幹生 薩摩川内市長
- (3) 地元歓迎の演奏 市来 美年子氏ほか一同様

2 記念式典 10:20~11:00

- (1) 開式
- (2) 市長式辞
- (3) 来賓祝辞
- (4) 来賓紹介
- (5) 祝電披露
- (6) 20年の歩み
- (7) 環境保全活動表彰
- (8) 小中学生絵画・提言等表彰
- (9) 未来の薩摩川内市長発表(最優秀賞受賞者)
- (10) 薩摩川内市長環境宣言
- (11) 閉式

3 環境イベント 11:00~12:00

- (1) 環境トーク 岩切 敏彦 氏
「薩摩川内市長の自然とベッコウトンボのためわたしたちができること」
- (2) 環境コンサート～SDGs音楽の贈り物 色響
「自然や環境をテーマにした音楽を、童謡からJ-POPまで幅広く演奏」

4 いむた池マルシェ 11:00~15:00

- (1) キッチンカー等出店
- (2) ステージ演奏等………12:00~15:00

5 アクアイムイベント

- (1) 無料開放……………11月9日(日)のみ
- (2) 薩摩川内市長の写真展示……………11月9日(日)～11月24日(月)
- (3) 薩摩川内市長の絵画、提言等展示……………〃

6 イベント閉会宣言 15:00

大木 幹生
～ラムサール条約湿地登録20周年～記念フェスタ・いむた池マルシェ合同運営委員会
副運営委員長



ごあいさつ

～ラムサール条約湿地登録20周年～
記念フェスタ・いむた池マルシェ合同運営委員会運営委員長

薩摩川内市長 田中 良二

蘭牟田池ラムサール条約湿地登録20周年記念フェスタの開催にあたり、ここ蘭牟田池に多くの皆様にお集まりいただき、心より感謝申し上げます。

また、これまで蘭牟田池の生態系の保全、ワיזユース(賢明な利用)にご尽力いただいております蘭牟田地区コミュニティ協議会、いむた池愛好会、ベッコウトンボを保護する会の皆様のほか蘭牟田池を愛する多くの方々に、敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

さて、ここ蘭牟田池は、環境省の積極的な働きかけと、鹿児島県、地元関係者の皆様のご尽力により、平成17年11月8日に国内希少野生動植物種であるベッコウトンボが生息する重要な湿地として、ラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)の登録湿地となり、去る11月8日に20周年を迎えました。

これまでの20年の間には、第22回全国トンボ市民サミット薩摩川内大会のほか多くのイベント等が開催され、環境省による外来魚の防除事業も実施されております。

また、市でも、外来魚の再放流を禁止するための条例改正、蘭牟田池ビオトープの設置など、蘭牟田池の貴重な生態系を保全するための対策を講じてきました。

一方で、近年の地球規模の気候変動に伴って、平成21年の大渴水によるベッコウトンボの激減や泥炭植物形成群落の面積の減少など、蘭牟田池を取り巻く環境も大きく変化しています。

このような中、市では、蘭牟田池の豊かな自然環境を後世に引き継いでいくため、蘭牟田池環境保全基本計画とその具体的な行動計画である蘭牟田池環境保全グリーンインフラアクションプラン(行動計画)を策定しました。今後、蘭牟田池の豊かな自然環境と貴重な生態系を保全する上で課題となっている人材育成と資金調達を図りながら、持続的な環境保全活動に取り組んでいくこととしています。

本日の記念フェスタは、これまでの20年間を振り返り、今後の蘭牟田池の保全やワיזユース(賢明な利用)の在り方を見つめ直す絶好の機会であり、これまでの活動が蘭牟田池から市全域へと広がり、さらには未来を担う子どもたちに受け継がれていくことを願っております。

今後も蘭牟田池の魅力を活用したイベントや観光を通じ、地域の皆様とともに環境保全と賢明な利用を図りながら、地域の活性化にも尽力して参りたいと考えておりますので、皆様のご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

最後になりますが、本日ここにお集まりいただいた皆様の、今後のご多幸とご健勝をお祈り申し上げまして挨拶といたします。



ごあいさつ

～ラムサール条約湿地登録20周年～

記念フェスタ・いむた池マルシェ合同運営委員会副運営委員長

蘭牟田地区コミュニティ協議会会長

蘭牟田池ラムサール条約湿地登録20周年記念

イベント実行委員会委員長

大木 幹生

ここ蘭牟田池は、国内希少野生動植物種「ベッコウトンボ」の生息地であることから、その重要性が認められ、平成17年11月8日に、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」(ラムサール条約)に登録され、今年で20周年になります。

本日、記念フェスタを開催するにあたり、蘭牟田地区コミュニティ協議会及び蘭牟田池ラムサール条約湿地登録20周年記念イベント実行委員会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

蘭牟田池は、温暖な地域では珍しい「泥炭形成植物群落」を形成しており、1921年(大正10年)に国の天然記念物の指定を受け、1953年(昭和28年)に蘭牟田池県立自然公園に、1996年(平成8年)には種の保存法に基づき、「ベッコウトンボ生息地保護区」に指定され、蘭牟田池の自然や環境の重要性が広く認められたところです。

また、春は桜、夏はボートやサイクリング、秋は紅葉、外輪山登山等、観光地としても年間を通して多くの方々においでいただき、蘭牟田池の自然や景観を楽しんでいただいているおります。

しかしながら、平成21年の大渇水や、外来魚の繁殖、令和6年には集中豪雨による舟見岳の法面崩壊が発生するなど生態系や自然環境を保全するために苦慮している状況であり、これまでビオトープの設置や外来魚の駆除等の対策が行われてきました。

また、平成23年5月「第22回全国トンボ市民サミット薩摩川内大会」が開催され、全国各地からトンボをはじめとする昆虫の愛好家が多数集まり交流が図られました。

令和6年には、薩摩川内市により、蘭牟田池の課題である人材育成と資金調達を図り、持続的な環境保全活動を行うための蘭牟田池環境保全基本計画及び具体的な行動計画である蘭牟田池環境保全グリーンインフラアクションプラン(行動計画)を策定されました。

この蘭牟田池の貴重な自然、環境、景観を守り、次の世代に引き継ぐことが、私たちの課題です。

本日の記念フェスタが、次代を担う子どもたちにとって貴重な体験と学習の機会になるとともに、ご参加いただいているすべての方にとりまして有意義なものになることをご祈念申し上げ、開催の挨拶とさせていただきます。

蘭牟田池について

1 蘭牟田池の成り立ち

30～40万年前、東西約4km、南北約7kmに広がる蘭牟田池火山と呼ばれる溶岩ドーム群が形成されました。続いて溶岩ドーム群の中央部が陥没し、カルデラが形成されるとともにカルデラの東側を塞ぐ形で溶岩ドームの飯盛山が形成されました。このようにできた窪地に水がたまって湖となったのが蘭牟田池です。

2 蘭牟田池の名前の由来

昔、イグサ(蘭草)の産地であり、沼、湿地(牟田)があったことから「蘭牟田池」となったとされています。

3 蘭牟田池の現状

標高295m、水深約3.5m、周囲約3.3km、面積約60ha、周りを標高450m～500mの外輪山に囲まれた火口湖です。

蘭牟田池の水は、池の東側から、1754年(宝暦4年)に完成した全長380mの隧道(トンネル)をとおり、下流域の約30haの水田に、農業用水として利用されています。

4 沿革

1921年(大正10年)	蘭牟田池の「泥炭形成植物群落」が、石炭の形成過程を知る資料として貴重なことから、国の天然記念物として指定
1953年(昭和28年)	鹿児島県立自然公園に指定
1996年(平成8年)	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律により、蘭牟田池ベッコウトンボ生息地保護区として指定
2005年(平成17年)	ラムサール条約に登録

5 ラムサール条約

正式名称は、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい、1971年にイランのラムサールという町で採択されたことから、一般的に「ラムサール条約」と呼ばれています。

現在は、水鳥だけに限らず、広く生態系にとって重要な湿地を保全する国際条約となっています。

また、湿地の保全だけでなく、湿地を上手に活用していく「ワיזユース(賢明な利用)」や「交流・学習」も提唱しています。

2022年12月現在、締約国数172カ国、登録湿地数は2,471カ所となっています。国内では53カ所、県内では、蘭牟田池、屋久島永田浜及び出水ツルの越冬地が登録されています。

6 蘭牟田池でのワיזユース(賢明な利用)

蘭牟田池県立自然公園では、環境保全の取組のほか、キャンプ、ボート、サイクリング、外来魚釣り、外輪山登山、ボルダリング、パラグライダーが利用され、梅マラソン、外輪山トレイルレース、いむた池マルシェ、外来魚釣り大会などのイベントも行われています。

20年の歩み



- 2005年(平成17年) ラムサール条約に登録
- 2006年(平成18年) 薩摩川外流魚リリース(再放流)禁止条例制定
- 2009年(平成21年) 15年ぶりの薩摩川大渇水
- 2011年(平成23年) ビオトープ完成
第22回全国トンボ市民サミット薩摩川内大会開催
- 2015年(平成27年) ラムサール条約湿地登録10周年
ビオトープにて、ベッコウトンボの羽化殻を確認
- 2024年(令和6年) 薩摩川環境保全基本計画策定
薩摩川環境保全グリーンインフラアクションプラン
(行動計画)策定



環境保全活動表彰受賞者（五十音順）

一般財団法人藺牟田区振興会

藺牟田池周辺の草刈り・清掃等のボランティア活動のほか桜の植栽など藺牟田池の景観の維持に多大な貢献を行った。

いむた池愛好会

本会は、藺牟田池の自然を守り、愛し、文化の薫る観光地として守り育むことを目的として結成され、これまで、全国トンボ市民サミット薩摩川内大会、ベッコウトンボ頭数調査会、ボランティアクリーン作戦、研修会の開催、講師派遣、自然観察会の実施、池周辺の草刈り、ビオトープの管理のほか藺牟田池の環境保全に多大な貢献を行った。

藺牟田地区コミュニティ協議会

藺牟田池が所在する地区コミュニティ協議会であり、草刈り・清掃等のボランティア活動により、藺牟田池の景観を維持する取組を行うほか、いむた池マルシェや梅マラソン大会など藺牟田池の環境保全とワיזユース推進に多大な貢献を行った。

株式会社小園建設

長期にわたり、藺牟田池自然公園及びアクアilmの指定管理者を担い、自主事業として、外来魚の買取や外来魚駆除を行い、藺牟田池の環境保全に多大な貢献を行った。

フォト俱楽部写楽

代表の松若氏は、今年度、記念フェスタ応援アンバサダーに就任。これまで藺牟田池写真展開催、ヒメボタルやアサギマダラの観察会実施、アサギマダラの飛来を促すフジバカマの植栽のほか、SNSによる藺牟田池のPRを行い藺牟田池の広報周知に多大な貢献を行った。

麓新田地区水利組合

藺牟田池に設置してある農業用水門を適切に管理運営し、藺牟田池の良好な生態系保全と下流域の約30haの営農との共存のために多大な貢献を行った。

ベッコウトンボを保護する会

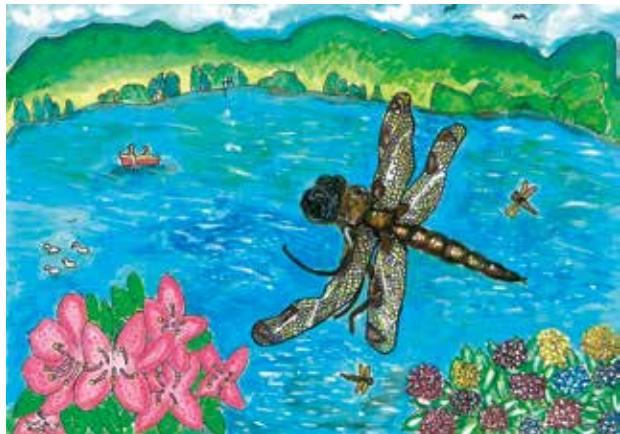
本会は、ベッコウトンボの頭数調査、人工飼育などベッコウトンボの保護のために多大な貢献を行った。

わけもんコラボ

代表の新村氏は、今年度、記念フェスタ応援アンバサダーに就任。藺牟田池のワיזユースを進めるために具体的な提案を行い、各種イベントに積極的に参加し、SNSにPRするなど藺牟田池のワיזユースのために多大な貢献を行った。

小中学生絵画・提言等表彰

«絵画»最優秀賞



薩摩川内市立育英小学校6年 萩原七海さん



薩摩川内市立祁答院中学校2年 高橋紗羽さん

«未来のいむた池がもっと良くなるアイデア»最優秀賞

薩摩川内市立祁答院小学校6年 佐藤結南さん

私は、昨年の夏にキャンプに参加しました。キャンプに参加した後で、みんなで桜の記念樹を植えさせてもらいました。蘭牟田池に行くたびに自分たちの記念樹の成長が楽しみです。いつか桜の花が咲いた時、また、キャンプをした友達と再会できたらいいなと思っています。思い出がある場所には、人は訪れると思います。

蘭牟田池の周辺に花がたくさん咲くとすてきだなと思います。桜、梅だけで年齢関係なくみんなに喜ばれる蘭牟田池であってほしいです。

今年の5月30日に、ヒメボタル観察会に参加しました。ヒメボタルはふつうのホタルと違い、光り方も違います。メスは飛ぶことが出来ません。そのため分布を拡大することもなく、生息場所は局所的であると教えてもらいました。薩摩川内市に住んでいる人にもあまり知られていないようです。

こんなきれいなホタルがいることをもっとたくさん的人に知ってもらいたらいいなと思いますが、心配なこともあります。ヒメボタルのようなホタルは、森林伐採でも絶滅していきます。きれいな水や土、環境が必要です。誰かが汚することで絶滅してしまう小さな命です。私には守りたいものがたくさんあります。トンボもそうですし、山もそうです。

蘭牟田池の山を登って頂上から見下ろした池もすてきでした。母も登山が好きでよく登っています。私たちができるることは、蘭牟田池のことをまずは知ってもらうことではないでしょうか。薩摩川内市の方で知らない良いところはたくさんあると思います。花植えのイベント、登山のイベント、ヒメボタル観察会のイベントなどたくさんのイベントを蘭牟田池で開催してほしいです。

小さなイベントから人のつながりが出来て、つながっていくような気がします。小学生、中学生、地域の方に意見をもらうのもいいと思います。みんなが落ち着ける、ホッとできる場所になってほしいです。



《《蘭牟田池の環境から未来に発信したいこと》》最優秀賞

薩摩川内市立川内中央中学校2年 谷川可純さん

ほのかに土が香る雄大な自然の暗闇で、自らの命を全うするホタルたち。一匹一匹が最後の力を振りしぶるような温かく優しい光は、夜の自然に灯火を与えていくのです。

私は6月に、ラムサール条約湿地登録20周年記念の蘭牟田池で行われた、ホタルの観察会に参加しました。夕方の蘭牟田池は、夕日に照らされて、水面がきらきら輝いています。一方、日が暮れると暗闇と化して、周辺の森は自然の神秘に包まれたかのような厳謹な雰囲気が感じられます。やがてポツポツと小さなホタルの光が現れました。ホタルの光は光始めてから数十秒で消え、それと同時に命を全うするそうです。数少ない自然の神秘で創りあげられた蘭牟田池だからこそ見られるホタルの姿、それはまるで森の宝石のようでした。人の手がほとんど加わっていない森の木々たちがホタルの美しさ、儂さをより引き立てるようでもあります。

現在は、環境の変化に伴い自然の置かれる状況も日々変化していきます。蘭牟田池の自然の神秘を、また「森の宝石」であるホタルを守り、未来につなげていくには様々な努力が必要不可欠です。

もちろん、その努力は、並大抵なものではありません。でも、自然の神秘を生き抜く生き物たち、自然をやさしく包み込む木々などの自然が私たちに微笑んでくれています。これからも自然が微笑み続けるには、自分に出来ることを少しずつ始めることが大切だと思います。

私が蘭牟田池の環境から未来に発信したいこと。それは全ての自然が私たちに微笑みかけてくれることです。その温かな微笑みをずっと先の未来まで守り抜くために私は何が出来るのか。今も暗闇の中で打ち光りながら命を全うするホタルを想いながら考えています。

《《絵画》優秀賞

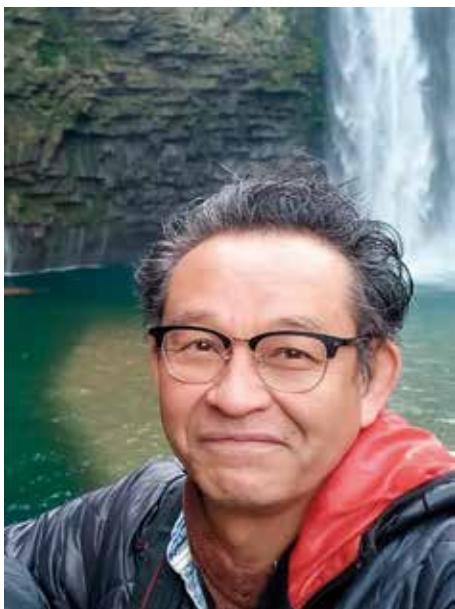
川内小学校1年	能勢桃歌さん	育英小学校2年	迫田柚良さん	祁答院小学校5年	稻森くるみさん
育英小学校1年	中島紬さん	川内小学校3年	二ノ方藍瑠さん	祁答院小学校5年	田子山洸士さん
育英小学校1年	西園介晴さん	育英小学校3年	川添琴海さん	祁答院小学校5年	東郷士瑛さん
東郷学園1年	水谷瑛心さん	東郷学園3年	福寄翔真さん	祁答院小学校5年	別府芽生佳さん
祁答院小学校1年	枝元咲来さん	祁答院小学校3年	稻森つぐみさん	祁答院小学校5年	竇満翔太さん
永利小学校2年	野村茉優さん	祁答院小学校3年	上平川奏楓さん	祁答院小学校6年	砂子田桃穂さん
育英小学校2年	有馬由華さん	副田小学校4年	畠中咲智乃さん	祁答院小学校6年	高橋あさひさん
育英小学校2年	勘米良ちひろさん	東郷学園4年	池之上理桜奈さん	祁答院小学校6年	寺園律生さん
育英小学校2年	久保史佳さん	東郷学園4年	大迫みのりさん	東郷学園6年	岡本夏さん

《《未来のいむた池がもっと良くなるアイデア》》優秀賞

水引小学校1年	東郷成峻さん	可愛小学校3年	平藪一愛さん	副田小学校4年	畠中咲智乃さん
川内小学校2年	米次聰玖さん	平佐西小学校3年	奥村愛さん	祁答院小学校5年	稻森くるみさん
隈之城小学校2年	平山紗絢さん	祁答院小学校3年	神村琉煌さん	祁答院小学校5年	木場謙信さん
平佐西小学校2年	島津蓮翔さん	祁答院小学校3年	松下楓さん	祁答院小学校5年	瀬尾慎さん
平佐西小学校2年	古田瑛史朗さん	可愛小学校4年	北野聰司さん	祁答院小学校5年	米盛鷹大さん
育英小学校2年	繁昌凜さん	隈之城小学校4年	満尾悠真さん	可愛小学校6年	平藪愛純さん
樋脇小学校2年	田代裕大さん	高来小学校4年	宍野紡季さん	祁答院小学校6年	河口峻佑さん
中津小学校2年	前田莉李さん	樋脇小学校4年	田代茉菜さん		



環境トーク



いわきり としひこ
岩切 敏彦 氏

(プロフィール)

学校教育・社会教育を通して環境教育に27年間取組む。4年間奄美大島に暮らし、世界自然遺産登録に関する環境学習や生物多様性、生態系に関する学習内容での指導経験が豊富で、体験を通して感性を養い、環境行動に結びつく環境学習を目指している。

(保有資格等)

- ・環境カウンセラー
- ・鹿児島県体験的環境学習研究会会長
- ・日本自然保護協会自然観察指導員
- ・ネイチャーゲームリーダー
- ・「プロジェクトワイルド」エデュケーター
- ・「ムッレ教室」リーダー
- ・かごしま検定マスター
- ・鹿児島県環境学習指導者人材バンク登録者

環境コンサート～SDGs音楽の贈り物



色響 IRO&HIBIKI

(プロフィール)

色響は、クリエーターやアーティストがこどもたちと一緒に明日の地球を守るために何ができるかを考える鹿児島のグループ。7歳から高校生までのこどもたちと音楽や色彩、制作、環境などの体験型ワークショップが中心。

マイクロプラスチックを始めとする海洋プラスチックゴミ問題に取り組む活動として、漂着

物で楽器を作り、オリジナル絵本「海からのメッセージ」を制作。読み聞かせの際、オリジナル音楽を作曲し演奏。今あるものを大切にしながら、それを生かして新しいものを作り出し、より豊かな生活、環境に繋がるアップサイクルを推進。想像する瞳やクリエイトする心を育てることを大切にしている。

2021年に設立。かごしま環境未来館登録団体。海と日本プロジェクト推進パートナー、ソロプチミスト鹿児島「社会ボランティア賞」受賞、エコクラブ全国エコ活コンクール「消費者庁長官賞」受賞、SDGsQuestみらい甲子園ファイナリスト、第30回コカ・コーラ環境教育賞優秀賞受賞

藺牟田池 環境宣言

ラムサール条約登録湿地である藺牟田池は、希少な動植物が生息する豊かな自然環境を有しています。

私たちは、このかけがえのない宝を未来に引き継ぐため、以下の誓いに基づき、藺牟田池の保全と持続可能な利用を推進することをここに宣言します。

(市の誓い)

ラムサール条約の目的である「湿地の保全・再生」と「賢明な利用(ワיזユース)」、そしてそのための「交流・学習」を、地域や関係機関と連携して推進し、ベッコウトンボをはじめとする藺牟田池の生態系を保護するとともに、その恵みを維持しながら、持続的に利用することを目指します。

(地域の誓い)

地域住民の誇りであり、そして生活、文化、心のよりどころである藺牟田池を、行政や関係機関と連携して保全活動に取り組み、自然環境と調和した地域振興を図ります。

(子どもの誓い)

藺牟田池を始めとする、ふるさとの自然について学び続けます。

藺牟田池の景観と環境を、守り育てる活動に積極的に参加します。

藺牟田池の自然を観察し、その素晴らしさを体験します。

藺牟田池の自然の素晴らしさを、多くの人に伝えていきます。

令和7年11月9日



蘆牟田池ラムサール条約湿地登録 20周年記念フェスタ

